

奄美群島請島において冬季に採集されたハムシ類

重藤裕彬¹⁾・吉武 啓²⁾¹⁾ 〒 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室²⁾ 〒 305-8604 つくば市観音台 3-1-3 (国研) 農研機構 農業環境変動研究センター

Leaf Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) Collected in Winter on Uke-jima Island, the Amami Islands, Central Ryukyus, Southwestern Japan

Hiroaki SHIGETO and Hiraku YOSHITAKE

Summary. Chrysomelid beetles collected from Uke-jima Island of the Amami Islands in the winter of 2017 are reported. A total of nine species in four subfamilies are recorded from Uke-jima Island, of which eight are new to the fauna of the island: 1) *Lilioceris formosana*, 2) *Demotina serriventris*, 3) *Demotina modesta*, 4) *Exasoma amamiensis* 5) *Trachytetra amamiana*, 6) *Chaetocnema confinis*, 7) *Aphthona formosana*, and 8) *Aphthona amamina*. All species recorded from Uke-jima Island in this report are in common to Amami-Ōshima Island, suggesting a similarity between the two islands in chrysomelid fauna. This report represents the first collecting records of leaf beetles in winter on the island.

奄美群島に属する請島（鹿児島県大島郡瀬戸内町）は、加計呂麻島の南隣り、奄美大島の南方約14kmに位置する、面積約13.34 km²、人口102人の小島である。請島の昆虫相に関しては、過去にアリ類（福元・山根, 2015）や、ゾウムシ類（Kojima & Watanabe, 2015）などの報告があるが、ハムシ類を対象とした調査は未だ行われたことがなく、同島からのこの類の分布記録は、ウリハムシおよびクロウリハムシ琉球列島亜種、キベリヒラタノミハムシ基亜種、オキナワイチモンジハムシの4種しかない（中峯, 2006）。また、冬季の採集記録は皆無である。

今回、筆者の一人である吉武が、2017年11月末から12月初頭にかけて請島で実施した野外調査で9種のハムシが得られたので、同島におけるハムシ類の冬季採集例としてここに報告する。学名と和名については、日本産ハムシ科生態覚書（滝沢, 2006-2014）に従った。なお、今回記録される全種が奄美大島に分布し、奄美大島と請島とのハムシ相の類似性を強く示唆するものである。また、オキナワイチモンジハムシを除く8種は、同島初記録である。本報告に使用した標本はすべて（国研）農研機構・農業環境変動研究センターに保管されている。

本稿を草するに当たり、請島における調査にご同行いただいた（国研）農研機構・中央農業研究センターの有本誠氏に厚くお礼申し上げる。また、常日頃より種々お世話いただいている東京農業大学の小島弘昭教授と石川忠准教授に記して感謝の意を表したい。

採集記録

ハムシ科 Chrysomelidae Latreille, 1802

クビボソハムシ亜科 Criocerinae Latreille, 1804

1. オキナワクビボソハムシ *Lilioceris formosana* Heinze, 1943 (Fig. 1)

1 ex., 請阿室石川道, 30. XI. 2017, 吉武採集; 2 exs., 同地, 3. XII. 2017, 吉武採集。

請島初記録。トカラ列島および奄美群島、沖縄諸島、台湾に分布する（木元・滝沢, 1994）。奄美群島における本種の分布記録は、これまで奄美大島と沖永良部島からしかなかった。本種の食草はササバサンキライ（ユリ科）のみとされていたが、近年、多くの同属他種と同様に、本種もハマサルトリイバラ（サルトリイバラ科）を寄主として利用することが明らかになった（小浜, 2013）。

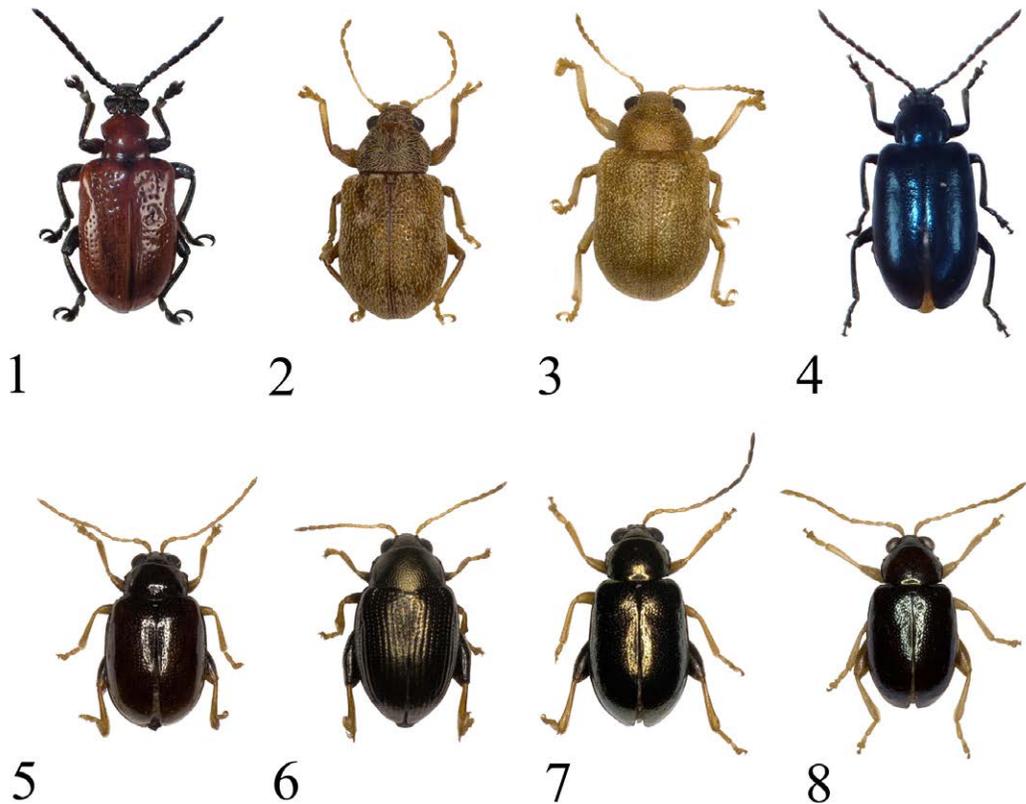
サルハムシ亜科 Eumolpinae Hope, 1840

2. クシバアラゲサルハムシ *Demotina serriventris* Isono, 1990 (Fig. 2)

1 ex., 請阿室石川道, 30. XI. 2017, 吉武採集。

請島初記録。九州から台湾にかけて分布するほか、ネパールからも記録されている。奄美群島における分布記録は、これまで奄美大島からしかなかった。なお、本種内には、腹節末端と頭盾の形態などに、島や地域ごとに変異が認められることから、分類学的再検討が必要である（今坂, 2010）。

3. カサハラハムシ *Demotina modesta* Baly, 1874 (Fig. 3)



Figs. 1-8. Leaf beetles from Uke-jima Island, the Amami Islands, central Ryukyus, southwestern Japan. 1, *Lilioceris formosana*; 2, *Demotina serriventris*; 3, *Demotina modesta*; 4, *Exasoma amamiensis*; 5, *Trachytetra amamiana*; 6, *Chaetocnema confinis*; 7, *Aphthona formosana*; and 8, *Aphthona amamina*.

1 ex., 請阿室赤土原, 30. XI. 2017, 吉武採集.
請島初記録. 日本および韓国, 中国, 台湾, 北
アメリカに分布しており, 我が国においては, 本
州から与那国島まで広く分布している.

ヒゲナガハムシ亜科 Galerucinae Latreille, 1802

4. オキナワイチモンジハムシ *Morphosphaera
coerulea* (Schönfeldt, 1890)

1 ex., 請阿室集落, 29. XI. 2017, 吉武採集; 1
ex., 請阿室石川道, 30. XI. 2017, 吉武採集.

屋久島から西表島まで南西諸島に広く分布して
いる. 本種成虫の出現期は3-11月とされているが, 1
月の採集例もあり(滝沢, 2011), 筆者の一人である
重藤も沖縄島で2月前半に採集している. したが
って, 本種は南西諸島において周年発生している
可能性がある. 近年, 千葉県で本種が発見された.
人為的影響をうけた移入の可能性が高く, 分布拡大
の動向および本来千葉県に分布している近縁種であ

るイチモンジハムシとの関係性が注目されている
(宮内ら, 2014).

5. アマミキバラヒメハムシ *Exasoma amamiensis*
(Nakane & Kimoto, 1861) (Fig. 4)

4 exs., 請阿室赤土原, 30. XI. 2017, 吉武採集;
13 exs., 請阿室民宿とやま, 1. XII. 2017, 吉武採集;
1 ex., 請阿室石川道, 3. XII. 2017, 吉武採集.

請島初記録. 従来, 沖縄諸島での分布記録こそ
多いものの, 奄美群島での分布記録は少なく, 奄
美大島からしか記録がなかった.

ノミハムシ亜科 Alticinae Newman, 1835

6. アマミアラハダトビハムシ *Trachytetra amamiana*
(Ohno, 1961) (Fig. 5)

2 exs., 請阿室石川道, 3. XII. 2017, 吉武・有本採集.
請島初記録. これまで九州および奄美大島から
しか記録がなかった.

7. サツマイモヒサゴトビハムシ *Chaetocnema confinis* Crotch, 1873 (Fig. 6)

1 ex., 請阿室集落, 29. XI. 2017, 吉武採集; 2 exs., 請阿室石川道, 3. XII. 2017, 吉武・有本採集.

請島初記録. 小笠原諸島父島および宮崎県, 鹿児島県, 種子島, 奄美大島, 喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 沖縄島, 台湾, ボルネオ, マレーシアに生息しており, 太平洋地域に分布を広げている(大林・藤本, 2012; 宮崎県病害虫防除・肥料検査センター, 2011; 滝沢, 2012). サツマイモやゲンハイヒルガオなどのヒルガオ科植物を寄主植物とし, サツマイモやエンサイの害虫としても扱われている(Jolivet, 2008; 小濱, 2010). 沖縄島では, 11月や1月といった冬季に採集された例もある(今坂・石関, 2012).

8. タイワンツブノミハムシ *Aphthona formosana* Chen, 1934 (Fig. 7)

2 exs., 請阿室赤土原, 30. XI. 2017, 吉武採集.
請島初記録. 日本および台湾, ミクロネシアに分布しており, 我が国においては, 四国および九州, 五島列島, 甌島, 南西諸島から記録されている.

9. アマミツブノミハムシ *Aphthona amamina* Ohno, 1962 (Fig. 8)

7 exs., 請阿室赤土原, 30. XI. 2017, 吉武採集.
請島初記録. これまで奄美大島と徳之島からしか分布記録がなかった. 本種の冬季採集例はこれまでになく, 成虫の出現期は3~6月とされているが, 今回は11月末に採集された. 同属他種と同様に成虫越冬している可能性がある.

引用文献

大林隆司・藤本周一, 2012. 未解明病害虫の原因究明および防除技術の検討~父島におけるサツマイモヒサゴトビハムシによるヨウサイ被害の発生~. 小笠原亜熱帯農業センター平成24年度試験成績書. www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/farm/pdf/32s24-10.pdf (2018年1月17日アクセス)

今坂正一, 2010. 最新ハムシ事情図説7 カサハラハムシ属紹介2. 今坂正一とEアシスト. www.coleoptera.jp/modules/xhnewbb/viewtopic.php?topic_id=106 (2018年1月12日アクセス)

今坂正一・石関博, 2012. サツマイモヒサゴトビハムシのエンサイへの加害, および国内における分布と単為生殖個体群の存在について. さやばねニューシリーズ, (5): 18-21.

木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539 pp. 東海大学出版, 東京.

Kojima, H., & M. Watanabe, 2015. Weevils (Coleoptera, Curculionidae) from Uke-jima and Yoro-jima Islands, the Amami Islands, the Ryukyus, Southwestern Japan. *Elytra*, Tokyo, New Series, 5: 525-529.

小濱継雄, 2013. オキナワクビナガハムシの久米島と渡名喜島からの記録と新食草の記録. *Pulex*, (92): 614-615.

小濱継雄, 2010. 沖縄県におけるサツマイモの食葉性害虫. 沖縄県農業研究センター研究報告, (4): 27-31.

Jolivet, P, 2008. Sweetpotato Flea Beetle, *Chaetocnema confinis* (Coleoptera: Chrysomelidae: Alticinae). *Encyclopedia of Entomology*, Springer Science+Business Media B. V. 10.

滝沢春雄, 2006. 日本産ハムシ科生態覚書(1). 神奈川虫報, (156): 1-8.

滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書(2). 神奈川虫報, (157): 17-26.

滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書(3). 神奈川虫報, (158): 37-48.

滝沢春雄, 2009. 日本産ハムシ科生態覚書(4). 神奈川虫報, (168): 1-11.

滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態覚書(5). 神奈川虫報, (173): 35-51.

滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態覚書(6). 神奈川虫報, (177): 33-51.

滝沢春雄, 2013. 日本産ハムシ科生態覚書(7). 神奈川虫報, (179): 17-33.

滝沢春雄, 2014. 日本産ハムシ科生態覚書(8). 神奈川虫報, (182): 37-46.

中峯浩司, 2006. 奄美群島請島2004年9月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (25): 63-67.

福元しげ子・山根正気, 2015. 奄美群島請島のアリ. *Nature of Kagoshima*, 41: 195-197.

宮内博至・金子美織・斎藤明子, 2014. 千葉県南部におけるオキナワイチモンジハムシの記録. 月刊むし, (520): 40-43.

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター, 2011. 宮崎県平成23年度病害虫発生予察特殊報第2号. www.jpnp.ne.jp/miyazaki/10/tokusyuu/23nen/h23tokusyuu02.pdf (2018年1月12日アクセス)

(2018年1月19日受領, 2018年3月2日受理)



齋藤修司, 2018. 2017年日本甲虫学会調査観察会で確認された甲虫について. *InsectTOHOKU*, (43): 1-40.

2017年の本学会の調査観察会で確認された甲虫類がリストアップされた. 福島県初記録44種を含む65科712種を纏めている. 学会の活動が地域ファ

ウナの解明に直結しており, 本学会と地方同好会との関係構築の見本となるであろう. 調査観察会の今後の活動に期待したい. また, 取り纏めを行った齋藤修司氏をはじめ, 参加者や同定作業を行った学会員にも敬意を表したい.

なお, 本誌は昆虫文献六本脚で入手できる.

(吉富博之)